

# GIDWR 岐阜県感染症発生動向調査週報

2014 年第 8 週  
(2/17~2/23)

Gifu Infectious Diseases Weekly Report 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

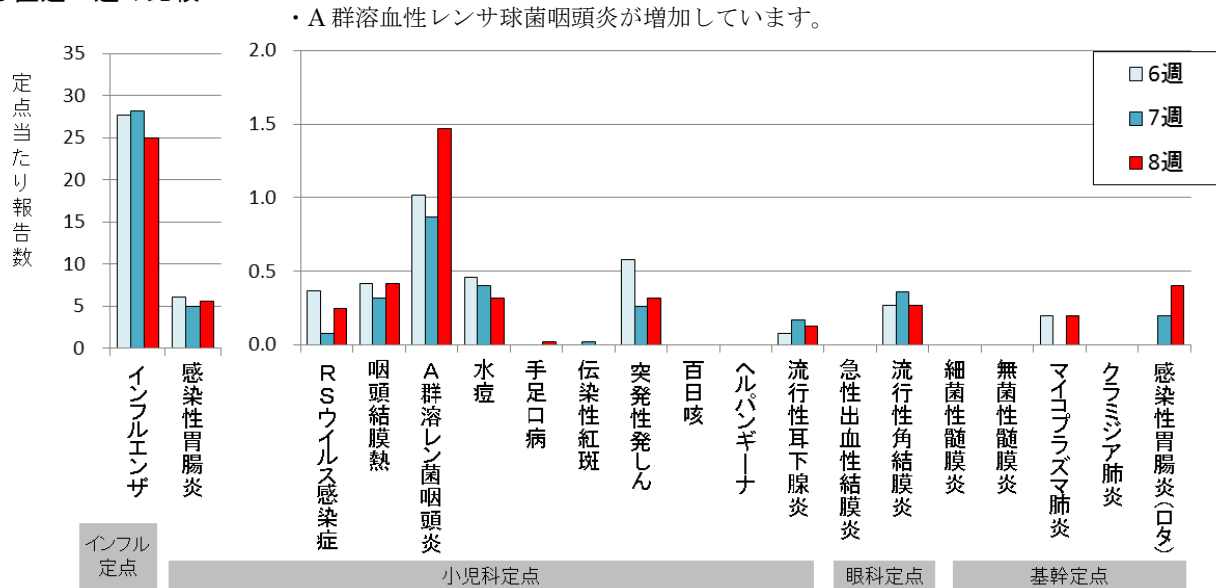
■ 定点把握対象疾患（インフルエンザ 定点:87 か所、小児科定点:53 か所、眼科定点:11 か所、基幹定点:5 か所）

● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

	疾患名	保健所名（定点当たり報告数）
警報レベル	インフルエンザ	岐阜市保健所（29.29）、岐阜保健所（28.06）、関保健所（30.13）、中濃保健所（28.50）、東濃保健所（24.50）
注意報レベル	インフルエンザ	西濃保健所（21.40）、恵那保健所（21.57）、飛騨保健所（14.40）

※インフルエンザは県全体（24.92）で警報レベルとなっています（開始基準値:30、終息基準値:10）。

● 直近 3 週の比較



■ 全数把握対象疾患

● 今週届出分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 11 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：なし
- 5 類感染症：アメーバ赤痢 1 例、梅毒 1 例

● 2014 年累計

1 類感染症	なし			
2 類感染症	結核	54 例		
3 類感染症	なし			
4 類感染症	E 型肝炎	1 例	マラリア	1 例
	デング熱	1 例	レジオネラ症	4 例
5 類感染症	アメーバ赤痢	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例
	急性脳炎	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 例	梅毒	1 例
	後天性免疫不全症候群	2 例		

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターの HP をご覧ください。

感染症発生動向調査週報 (IDWR) <http://www.nih.go.jp/niid/ja/idwr.html>

## ■トピックス

### 《インフルエンザ》

#### ◆インフルエンザにしばらく注意が必要です！

第8週のインフルエンザ定点からの患者報告数は、2,168人（定点当たり24.92人）と、先週（定点当たり28.22人）より減少しましたが、依然として全県で警報レベルの流行となっています。

また、第8週には県内の小中学校等計49施設でインフルエンザによる休業措置がとられました。

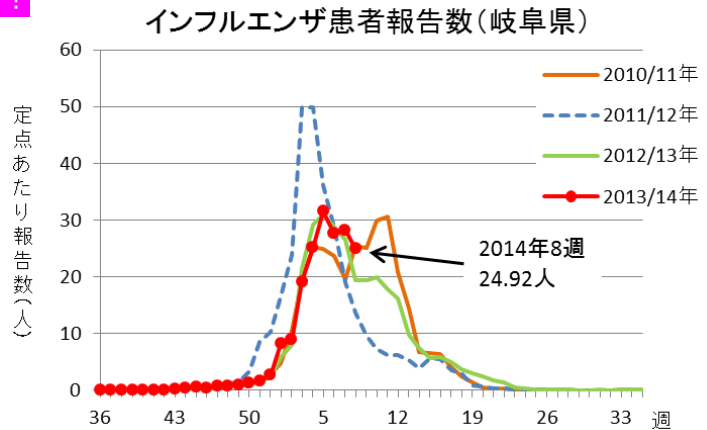
#### ◆予防に努め、感染拡大を防ぎましょう！

予防のために・・・

- ・外出後は、石けん・流水による手洗い、うがいを行う（アルコール製剤による手指消毒も有効）。
- ・高齢者や慢性疾患を抱えている人は特に、人ごみや繁華街への外出を控える。

インフルエンザにかかったときは・・・

- ・早めに医療機関を受診し、安静にして休養をとる。
- ・無理をして学校や職場に行かない。
- ・咳の出るときはマスクを着用し、咳エチケットを心がける。



#### 保健所別インフルエンザ患者報告数

( ) 内は定点あたり報告数

保健所	8週	7週	6週	5週
岐阜市	410 (29.29)	484 (34.57)	437 (31.21)	582 (41.57)
岐阜	477 (28.06)	484 (28.47)	576 (33.88)	623 (36.65)
西濃	321 (21.40)	310 (20.67)	311 (20.73)	266 (17.73)
関	241 (30.13)	312 (39.00)	316 (39.50)	342 (42.75)
中濃	228 (28.50)	270 (33.75)	291 (36.38)	312 (39.00)
東濃	196 (24.50)	264 (33.00)	290 (36.25)	287 (35.88)
恵那	151 (21.57)	135 (19.29)	73 (12.17)	159 (22.71)
飛騨	144 (14.40)	196 (19.60)	92 (9.20)	173 (17.30)
岐阜県	2,168(24.92)	2,455(28.22)	2,386(27.74)	2,744(31.54)

■ 警報レベル (開始: 定当30人、終息: 定当10人)  
 ■ 注意報レベル (定当10人以上)

#### 感染症法における取扱い

インフルエンザは、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約4,900か所（岐阜県87か所）のインフルエンザ定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

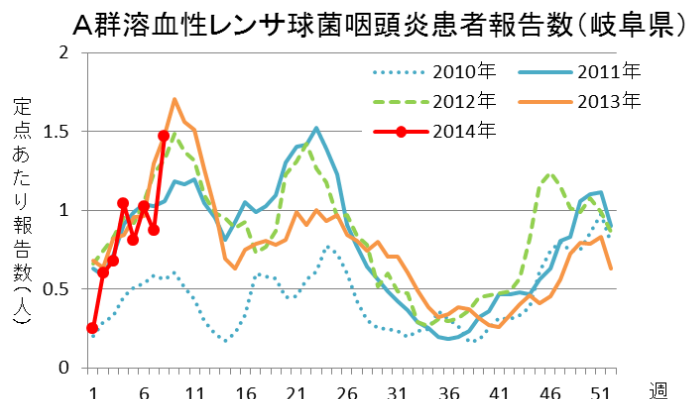
<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouou-kijun.html> (保健医療課 HP)

★インフルエンザの流行状況や学校休業情報については、「岐阜県リアルタイム感染症サーベイランス（岐阜県医師会）」もご覧ください。 URL <http://infect.gifu.med.or.jp/influ/influcondition>

### 《A群溶血性レンサ球菌咽頭炎》

#### ◆患者が増加する季節です。

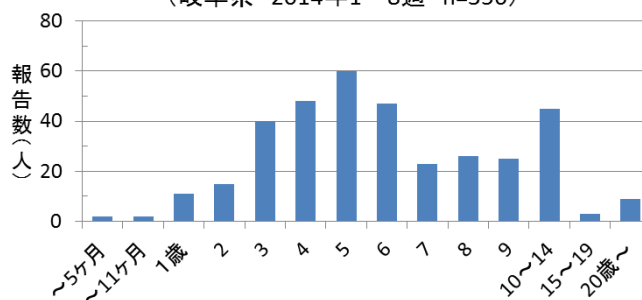
第8週の小児科定点からのA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の報告数が78人（定点当たり1.47人）と増加しています。例年、2月～4月のこの時期に患者数が増加していますので、今後の動向に注意が必要です。



◆保育所や幼稚園での感染に注意しましょう。

報告患者の年齢は3～6歳が多く、保育所や幼稚園での感染に注意が必要です。患者から排出された菌の付いた手で鼻や口を触ったり（接触感染）、咳やくしゃみなどの飛沫を吸い込んだりする（飛沫感染）ことで広がりますので、患者との濃厚な接触を避け、手洗い・うがいを励行しましょう。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎年齢階級別報告数  
(岐阜県 2014年1～8週 n=356)



感染症法における取扱い

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、感染症法において5類感染症定点把握対象疾患に定められており、全国約3,100か所（岐阜県53か所）の小児科定点から毎週報告がなされています。

届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html> (保健医療課 HP)

《重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)》

◆春に向けて注意が必要です！

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) は、マダニが媒介するウイルス感染症で、2013年1月に国内で初めて患者が確認され、これまでに九州・四国・中国・近畿地方の13県で患者が報告されています。主な症状は発熱と消化器症状で、重症化し死亡する場合があります。岐阜県では、現在のところ患者発生の報告はありません。

厚生労働科学研究の調査によると、これまで患者が報告されていない地域においてもSFTSウイルス遺伝子を持つマダニやSFTSウイルス抗体を持つ動物が確認された\*ことから、SFTSウイルスを保有するマダニは国内に広く分布していると考えられています。\*岐阜県においても確認されています。

今後、春に向けてマダニの活動が活発になります。マダニに咬まれないように注意しましょう。

★草むらや藪などに入る場合には・・・

◎肌の露出の少ない服装を！

- ・長袖・長ズボン（シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる）
- ・帽子・手袋・足を完全に覆う靴・首にはタオルを巻く

◎服は明るい色のものがお勧め（マダニを目視で確認しやすいため）

◎虫除け剤（DEET（ディート）などの有効成分が含まれたもの）の使用も有効

★草むらや藪などに入った後は・・・

◎すぐに入浴し体を良く洗って、服を着替える。入浴前には、ダニに咬まれていないかよく確認。

感染症法における取扱い

SFTSは、感染症法において4類感染症全数把握対象疾患に定められており、患者を診断した医師は直ちに保健所に届け出なければなりません。届出基準・届出様式はこちらをご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/yaku-eisei-kansen/kansensho/hasseidoko/kansenshouhou-kijun.html> (保健医療課 HP)

この週報は岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）のホームページにも掲載しています。

URL <http://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/kenko-fukushi/hokekan/kansensyo/>